

**Q6-4-15 ホウレンソウに石灰窒素は必須肥料になっていますが、そのわけは……？**

A6-4-15 ホウレンソウは硝酸態窒素を好んで吸収しますが、アンモニア態窒素も吸収させると葉色が濃く葉肉が厚くなり品質のよい(ビタミンC含量の多い)ものが穫れます。また、ホウレンソウは極めて酸性土壌に弱く養分として石灰を多く吸収します。このようなホウレンソウの性質から①窒素がアンモニア態窒素として長効きする、②酸性土壌の改良効果がある、③石灰を含有すると云う石灰窒素の特性とよく合います。

秋冬どりの産地では石灰窒素を10a当たり40～80kgを必ず使用しています。石灰窒素により、生育はよく、葉色は緑が濃く艶があり、葉先はしっかりと葉肉厚く、日持ちのよい、商品性に優れたものが穫れます。また、センチュウ類の防除効果や除草効果なども、ホウレンソウの良品多収に結びついているものと考えています。

表6-4-11 ホウレンソウに対する石灰窒素の効果 (宮城県・1991年)

区 名	項 目	草 丈 cm	葉 長 cm	葉 幅 cm	重 量 g	葉緑素計値 (野菜用)
1.	化成肥料+石灰窒素 0kg	22.5	10.8	12.0	32.0(100)	1.30(1.04～1.50)
2.	” 30kg	25.5	11.0	13.0	35.2(110)	1.55(1.15～1.72)
3.	” 60kg	27.0	11.5	15.2	36.8(115)	1.62(1.22～1.86)

※ 施肥窒素分量は同一とした。 10株当たり